
フォーム・オーバーレイ プログラム for Windows

ユーザーズ・ガイド

※ IBM は米国IBM Corp. 社の商標です。

※ Microsoft, Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

※ WindowsVista, Windows7, Windows8, Windows10, WindowsServer2003R2, WindowsServer2008, WindowsServer2008R2, Windows2016 は米国マイクロソフト社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。

第1版 2017年12月

ご注意

- ・本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製することはできません。
- ・本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本ソフトウェアおよびマニュアルの内容については、改良等のため、予告なく変更することがあります。

Copyright JB Advanced Technology Corporation. 2017. All Rights Reserved.

はじめに

フォーム・オーバーレイ プログラム for Windows (以下本プログラム)をご使用頂きありがとうございます。

本プログラムは、PAGESBOXでフォーム・オーバーレイ印刷を行うための、フォームの設計、PAGESBOXへの登録を行うプログラムです。

本プログラムは、ウインドウ上に、用紙イメージを表示し、ワープロ感覚でフォームを作成し、プリンターに登録することができます。

目次

第1章 ご使用になる前に

1 パッケージの内容	1-1
2 操作環境	1-1
3 インストール	1-1
4 アンインストール	1-5
5 プリンタードライバーの設定	1-6

第2章 基本操作

1 フォーム・オーバーレイ印刷とは	2-1
1.1 概要	2-1
1.2 処理の流れ	2-1
1.3 HSTファイルを使用した印刷業務	2-2
1.4 HSTファイルと	2-2
2 操作手順	2-4
2.1 フォームを作成する	2-4
2.2 PAGESBOXにフォームを登録する	2-4
2.3 フォーム・オーバーレイ印刷を行う	2-6
3 フォームの作成	2-7
3.1 フォーム作成の開始	2-7
3.2 オブジェクト	2-10
3.3 オブジェクトの作成	2-10
3.3.1 固定文字オブジェクト	2-10
3.3.2 図形オブジェクト	2-13
3.3.3 ビットマップオブジェクト	2-14
3.3.4 表オブジェクト	2-14
3.4 オブジェクトの選択	2-16
3.5 オブジェクトの移動、サイズ変更	2-16
3.6 オブジェクトの位置を揃える	2-17
3.7 テスト印刷	2-17
4 フォーム・オーバーレイ印刷	2-18
4.1 フォーム登録	2-18
4.2 プリンター・ドライバーの指定	2-18
4.3 &%(/)コマンドの出力	2-18
4.4 プリンター制御コマンド	2-18
4.5 フォーム・オーバーレイ制御	2-19
4.6 コマンド送出順序	2-19
4.7 その他のフォーム・オーバーレイコマンド	2-20
4.8 印刷位置の微調整	2-20

第3章 リファレンス

1 フォーム・オーバーレイの操作.....	3-1
1.1 ツールバー.....	3-1
1.2 コマンドの機能	3-3
ファイルメニュー.....	3-3
編集メニュー	3-8
表示メニュー	3-8
フォーム・オーバーレイメニュー	3-10
バージョンメニュー.....	3-16

第1章 ご使用になる前に

1 パッケージの内容	1-1
2 操作環境	1-1
3 インストール	1-1
4 アンインストール	1-5
5 プリンタードライバーの設定	1-6

1 パッケージの内容

フォーム・オーバーレイプログラムは、JBアドバンスド・テクノロジー株式会社のホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。

URL <http://www.jbat.co.jp/>

2 動作環境

Windows

- 日本語 WindowsVista 32ビット/64ビット版
- 日本語 Windows7 32ビット/64ビット版
- 日本語 Windows8 32ビット/64ビット版
- 日本語 Windows10 32ビット/64ビット版
- 日本語 WindowsServer2003R2 32ビット/64ビット版
- 日本語 WindowsServer2008 32ビット版
- 日本語 WindowsServer2008R2 64ビット版
- 日本語 WindowsServer2016 64ビット版

3 インストール

フォーム・オーバーレイプログラムを、ハードディスクにインストールし、Windows に登録します。

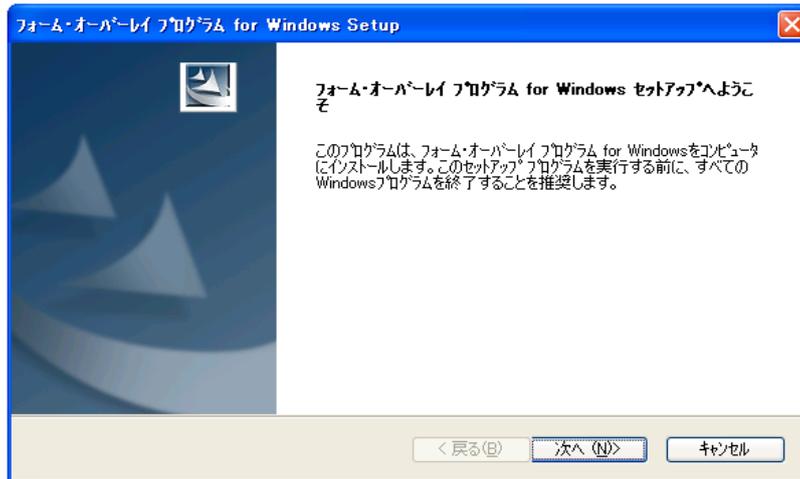
※ 古いバージョンのフォーム・オーバーレイプログラムがインストールされている場合は、初めに「4 アンインストール」を行ってください。その後、新しいバージョンのフォーム・オーバーレイプログラムをインストールしてください。

- ① Windows を起動します。
- ② フォーム・オーバーレイプログラムを、JBアドバンスド・テクノロジー株式会社のホームページよりPCのハードディスクにダウンロードします(ダウンロードファイルは自己解凍形式圧縮ファイルです。ダウンロード後、同ファイルをダブルクリックすることにより、実行形式ファイルが展開されます)。
- ③ [スタート]ボタンをクリックし、メニューを開きます。
- ④ [ファイル名を指定して実行(R)]コマンドを選択します。

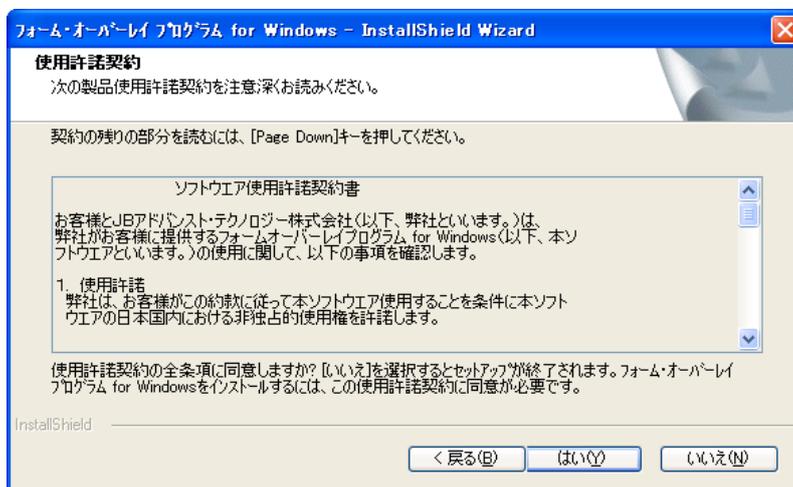


⑤フォーム・オーバーレイプログラムをダウンロードしたドライブ名とフォルダ名、ファイル名“¥foverlay.exe”を入力します。[OK]ボタンをクリックするとInstallShield Wizard画面が表示されます（下記例は、Dドライブのハードディスクにあるフォルダ¥formov にフォーム・オーバーレイプログラムをダウンロードした場合です）。

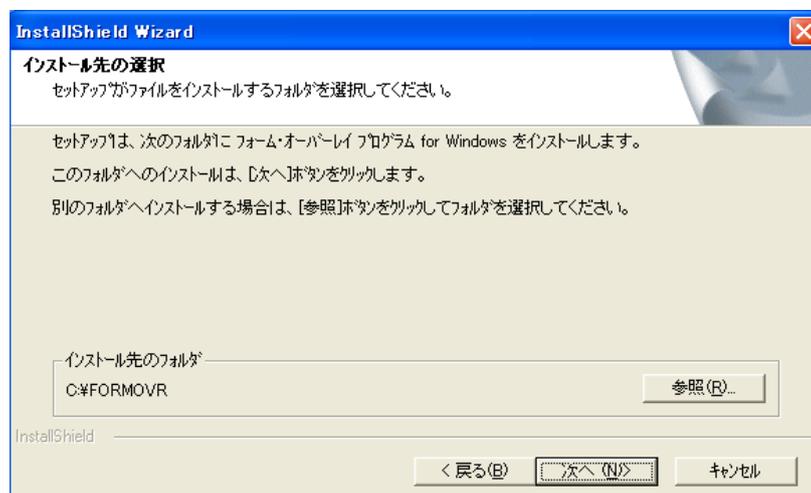




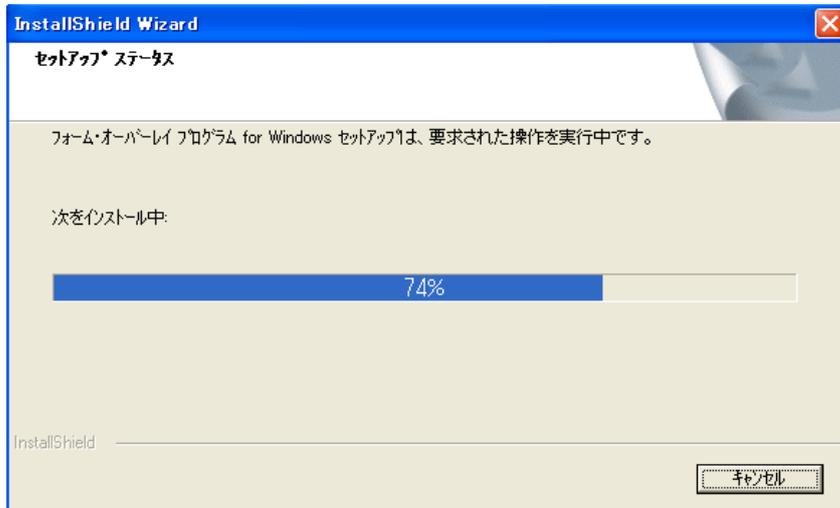
- ⑥ [次へ(N)>] ボタンをクリックすると、使用許諾契約画面が表示されます。



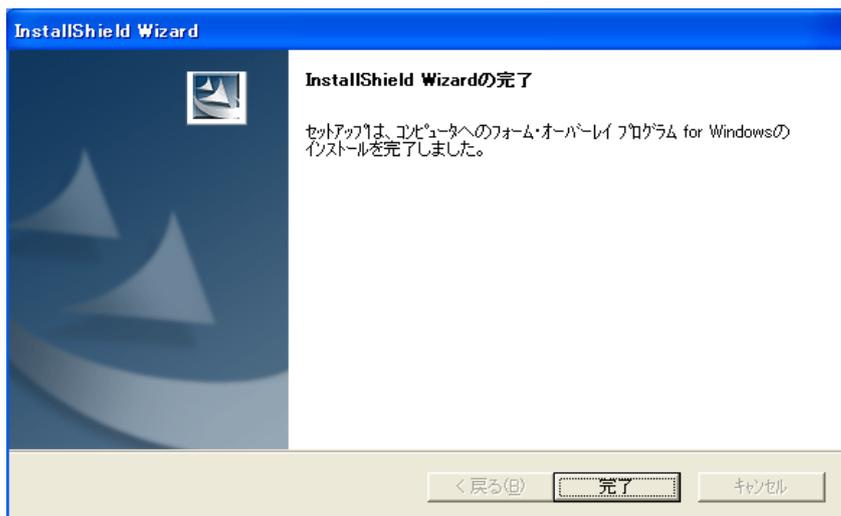
- ⑦ 記載されている使用許諾契約内容をよくお読みいただき、ご同意される場合には [はい(Y)] ボタンをクリックしてください。フォーム・オーバーレイプログラムインストール、<インストール先ディレクトリの選択>ダイアログボックスが表示されます。ご同意いただけない場合は [いいえ(N)] ボタンをクリックしてください。インストール作業は中止されます。



- ⑧ インストール先のフォルダを指定し、[次へ(N)]ボタンをクリックすると、プログラムのインストールが開始されます。



- ⑨ インストールが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。[完了]ボタンをクリックします。



4 アンインストール

ハードディスクにインストールされている、フォーム・オーバーレイプログラムを削除します。

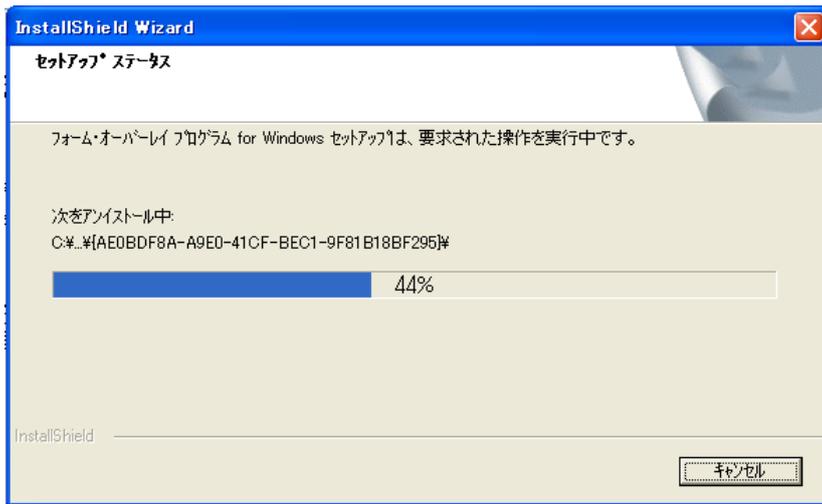
- ① [マイコンピュータ]アイコンより、[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]を起動します。



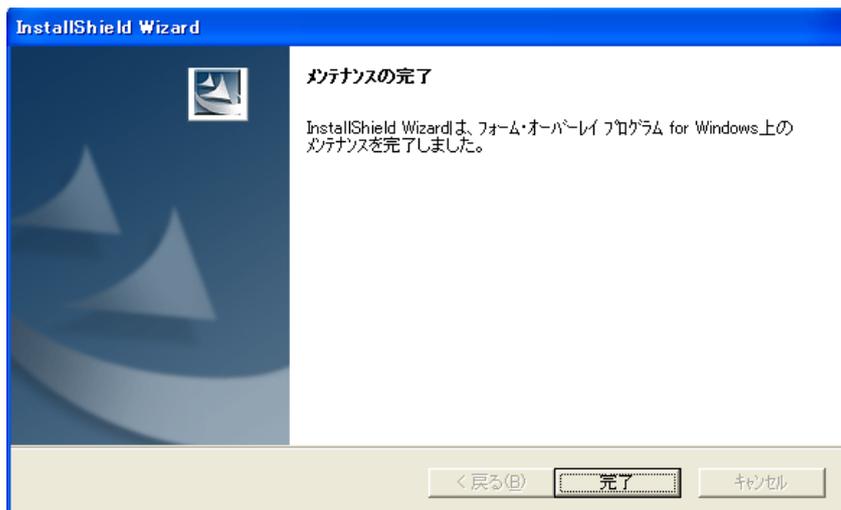
- ② [セットアップと削除]タブのリストボックスの中の “フォーム・オーバーレイプログラム” を選択し [追加と削除(R)]ボタンをクリックします。



- ③ [OK]ボタンをクリックすると、プログラムのアンインストールが開始されます。



- ④ アンインストールが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。[完了]ボタンをクリックします。



5 プリンタードライバーの設定

フォーム・オーバーレイの操作を行うプリンター（PAGESBOX）を、「通常使うプリンター」に設定してください。

第2章 基本操作

1	フォーム・オーバーレイ印刷とは	2-1
1.1	概要	2-1
1.2	処理の流れ	2-1
1.3	HSTファイルを使用した印刷業務	2-2
1.4	HSTファイルとは	2-2
2	操作手順	2-4
2.1	フォームを作成する	2-4
2.2	PAGESBOXにフォームを登録する	2-4
2.3	フォーム・オーバーレイ印刷を行う	2-6
3	フォームの作成	2-7
3.1	フォーム作成の開始	2-7
3.2	オブジェクト	2-10
3.3	オブジェクトの作成	2-10
3.3.1	固定文字オブジェクト	2-10
3.3.2	図形オブジェクト	2-13
3.3.3	ビットマップオブジェクト	2-14
3.3.4	表オブジェクト	2-14
3.4	オブジェクトの選択	2-16
3.5	オブジェクトの移動、サイズ変更	2-16
3.6	オブジェクトの位置を揃える	2-17
3.7	テスト印刷	2-17
4	フォーム・オーバーレイ印刷	2-18
4.1	フォーム登録	2-18
4.2	プリンター・ドライバーの指定	2-18
4.3	&%(/)コマンドの出力	2-18
4.4	プリンター制御コマンド	2-18
4.5	フォーム・オーバーレイ制御	2-19
4.6	コマンド送出順序	2-19
4.7	その他のフォーム・オーバーレイコマンド	2-20
4.8	印刷位置の微調整	2-20

1 フォームオーバーレイ印刷とは

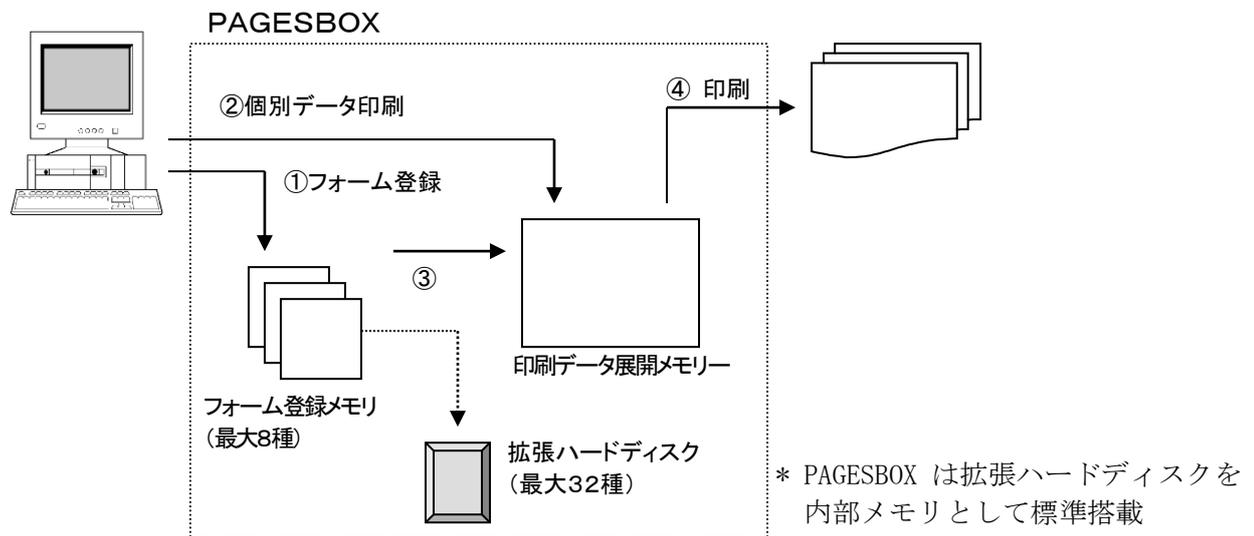
1.1 概要

PAGESBOXは、帳票の枠組みや、会社名などの固定的な印刷データ（以降、単にフォームと呼びます）を登録できます。その後、個別の印刷データをPAGESBOXへ出力すると、PAGESBOXは指定されたフォームと重ね合わせてプリンターへ送信し印刷します。このような印刷方法を、フォーム・オーバーレイ印刷と呼びます。

フォーム・オーバーレイ印刷を使用することにより、PAGESBOXへの出力データは個別データだけとなり、実効性能の向上がはかれます。

1.2 処理の流れ

フォーム・オーバーレイ印刷は、PAGESBOX内部で、次のように処理されます。



① フォームの登録

PCからフォーム・データを出力すると、プリンター内部のフォーム登録メモリへ、内部処理コードの型で登録されます。プリンター内部には、最大8種類のフォーム・データを登録できます。オプションの拡張ハードディスクを使用すると、拡張ハードディスク内に最大32種類のフォーム・データを登録できます。

ただし、1つのフォーム・データ量大きい場合、2種類以上のメモリ領域を使用して登録するため、登録できるフォームの種類は8種類より小さくなります。

拡張ハードディスクへ一度登録すれば、プリンターの電源をオフにしても、再度登録する必要はありません。

重要

プリンター内部のフォーム登録メモリへ登録後、他のエミュレーションに切り替った場合、フォーム・データが消失します。

② 個別データの印刷

PCから個別の印刷データを出力すると、プリンター内部の印刷データ展開メモリへ展開（メモリー上に文字やイメージの型で展開）します。

③ オーバーレイ内部処理

印刷データ展開メモリーの中に1ページ分のデータができると、フォーム登録メモリーに登録されていたフォーム・データを、印刷データ展開メモリー上へ展開（重ね合わせ）します。

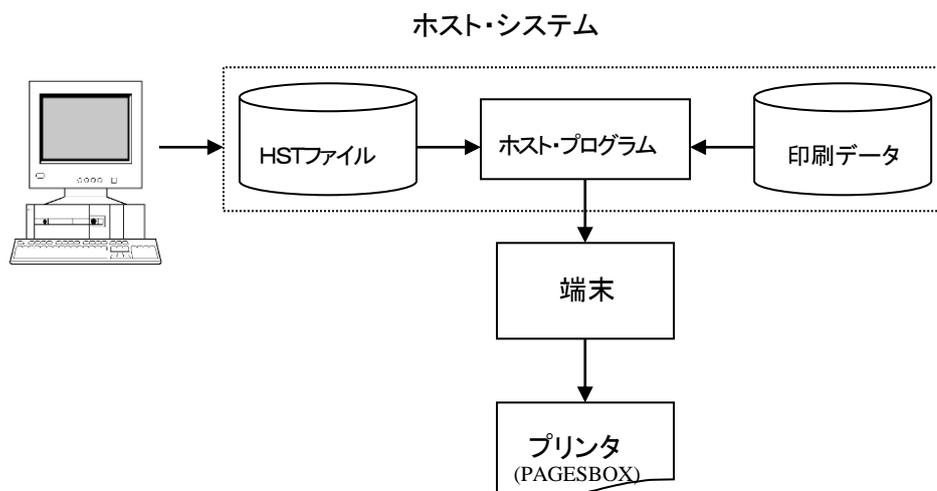
④ オーバーレイ印刷

重ね合わせが終了すると、印刷を開始します。

1.3 HSTファイルを使用した印刷業務

個別データ印刷を行う前に、HSTファイルを印刷することにより、フォーム・データをプリンターに登録することができます。

<注意事項>



HSTファイルを印刷データとして出力する場合は、ホスト・システムのリスティング・メッセージ（見出しや、ページ番号など）が途中で入らないようにしてください。途中で入ってしまうと登録しようとしているフォームが壊されてしまいます。

1.4 HSTファイルとは

HSTファイルとは、

- 1) フォーム登録開始コマンド
- 2) フォーム・データ
- 3) フォーム登録終了コマンド

をすべてテキスト形式で記述したフォーム・データ・ファイルです。

※ HSTファイルは、本プログラムで作成することができます。

- HSTファイル作成時には次の指定を行うことができます。

登録番号	:フォームの登録番号
登録先	:プリンター内部メモリ/拡張ハードディスク
レコード長	:HSTファイルのレコード長
1ページ当りの行数	:HSTファイルの1ページ当りの行数

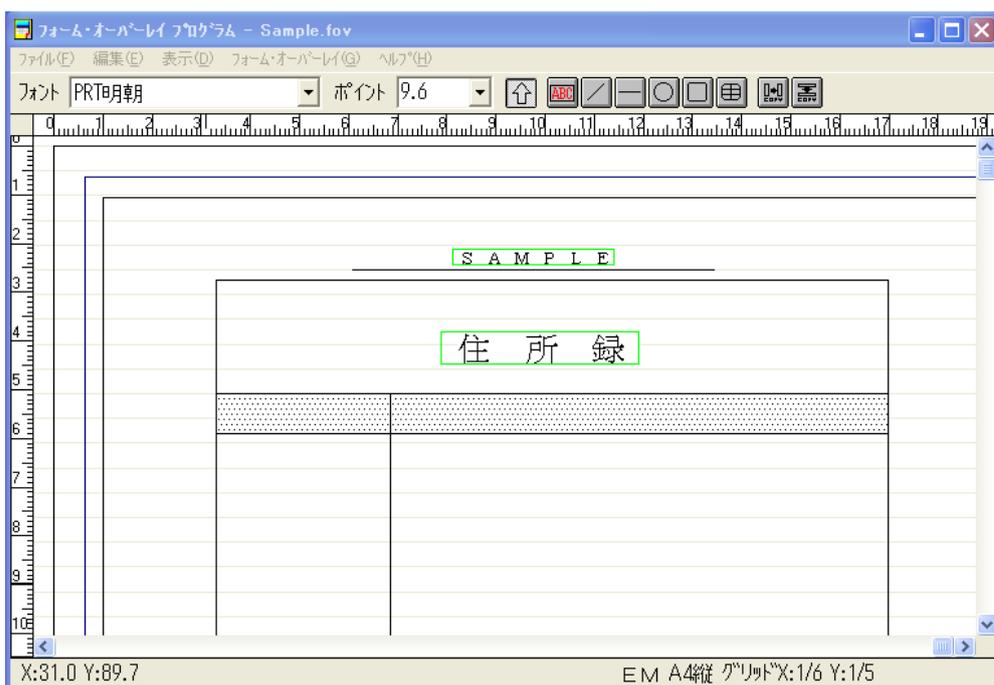
HSTファイルは、テキスト形式となっているためホストと端末の間で自由に転送が行えます。また、このファイルをプリンター(PAGESBOX)に印刷データとして出力すると、PAGESBOXはフォーム・データとして登録を実行します。フォームの登録先はHSTファイル作成時にあらかじめ設定しますが、テキスト形式になっているためホスト側での編集も可能です。

このように、HSTファイルを使用することにより、インテリジェント機能がないオンライン端末に接続されたプリンターでもオーバーレイ印刷業務が可能となります。

2 操作手順

2.1 フォームを作成する

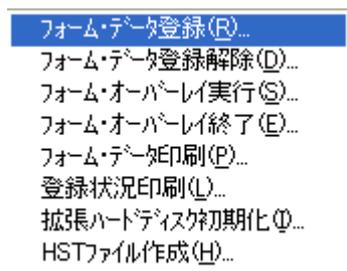
フォーム・オーバーレイプログラムにより、フォームを作成します。
作成するフォームの用紙サイズを指定すると、ウィンドウ内に用紙イメージが表示されます。
固定文字オブジェクトにより、文字列及び文字種類、文字サイズ、配置方法を指定します。図形オブジェクトにより、罫線や網掛けを指定します。フォームの作成は、ワープロ感覚で作成することができます。



2.2 PAGESBOXにフォームを登録する

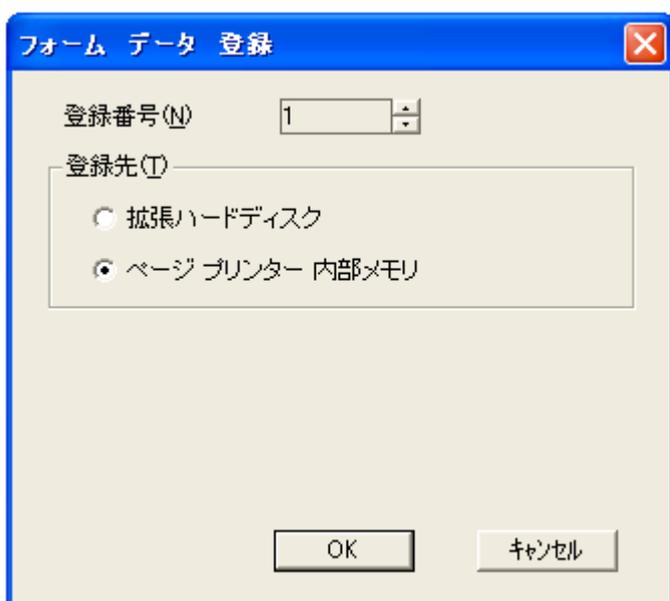
フォーム・オーバーレイプログラムにより作成したフォームを、PAGESBOXに登録して、オーバーレイ印刷ができるようにします。

[フォーム・オーバーレイ(G)] メニュー [フォーム・データ登録(R)] コマンドを選択すると<フォーム データ登録> ダイアログボックスが表示されます。



登録番号、登録先を指定して <OK> ボタンをクリックすると、フォームがプリンター (PAGESBOX) に登録されます。

拡張ハードディスクに登録されたフォームは、PAGESBOXの電源をオフにしても登録内容は失われませんが、ページ プリンター内部メモリに登録されたフォームは、PAGESBOXの電源をオフにすると登録内容は失われます。



フォーム データ 登録

登録番号 (N) 1

登録先 (I)

拡張ハードディスク

ページ プリンター 内部メモリ

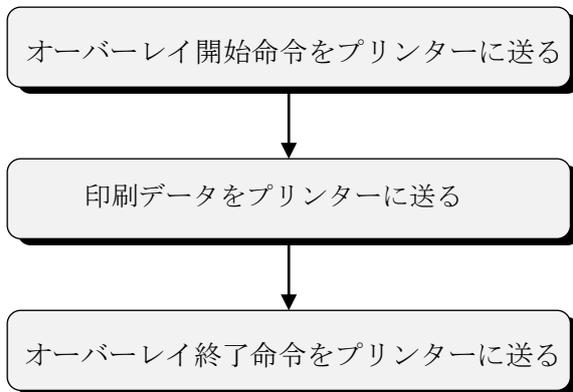
OK キャンセル

<注意>

フォームを上書き登録する場合には、必ず登録されていたフォームを解除してから登録してください。

2.3 フォーム・オーバーレイ印刷を行う

オーバーレイ印刷は次の手順で行ないます。

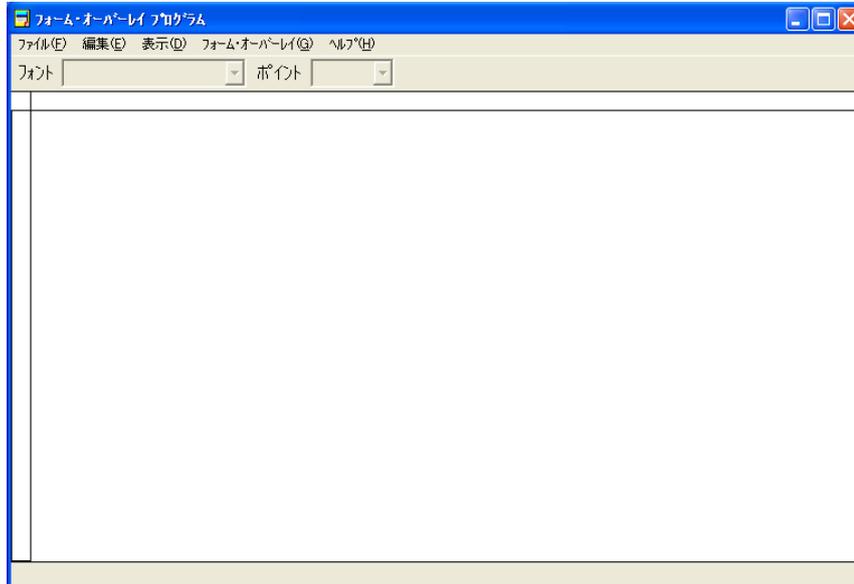


オーバーレイ開始命令で指定するフォームに、印刷データが重ねて印刷されます。印刷データが複数ページに印刷される場合、各ページ同じフォームが使用されます。

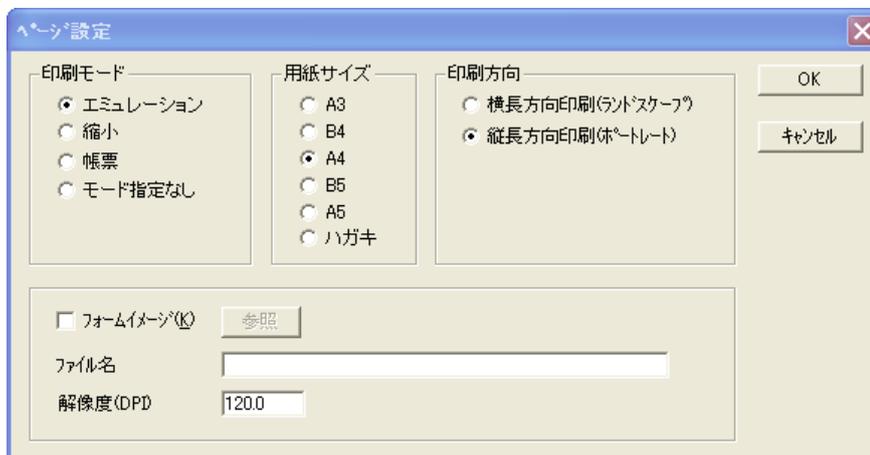
3 フォーム作成

3.1 フォーム作成の開始

フォーム・オーバーレイプログラム を起動します。



[ファイル(F)]メニュー[新規作成(N)]コマンドを選択します。ページ設定ダイアログボックスが表示されます。



[印刷モード]

通常のサイズで印刷する場合“エミュレーション”を選択します。75%に縮小する場合“縮小”、136桁・66行の帳票を印刷する用紙に縮小する場合“帳票”を選択します。

[用紙サイズ]

印刷を行う用紙のサイズを指定します。

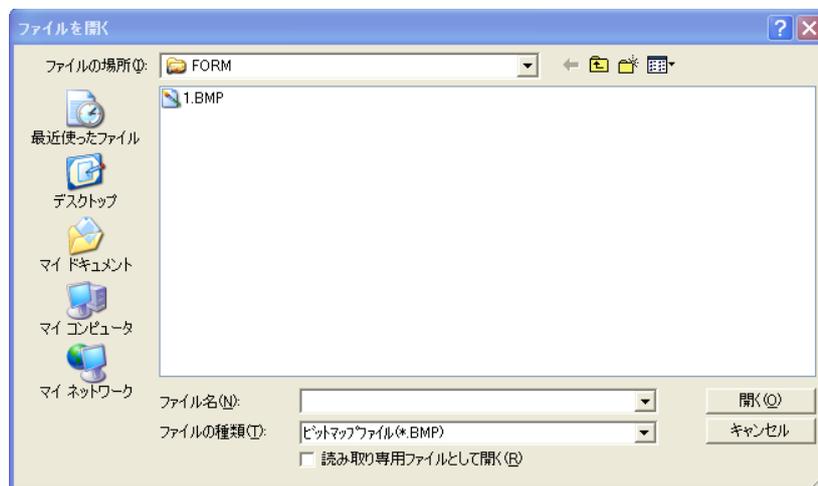
[印刷方向]

印刷を行う用紙の方向を指定します。

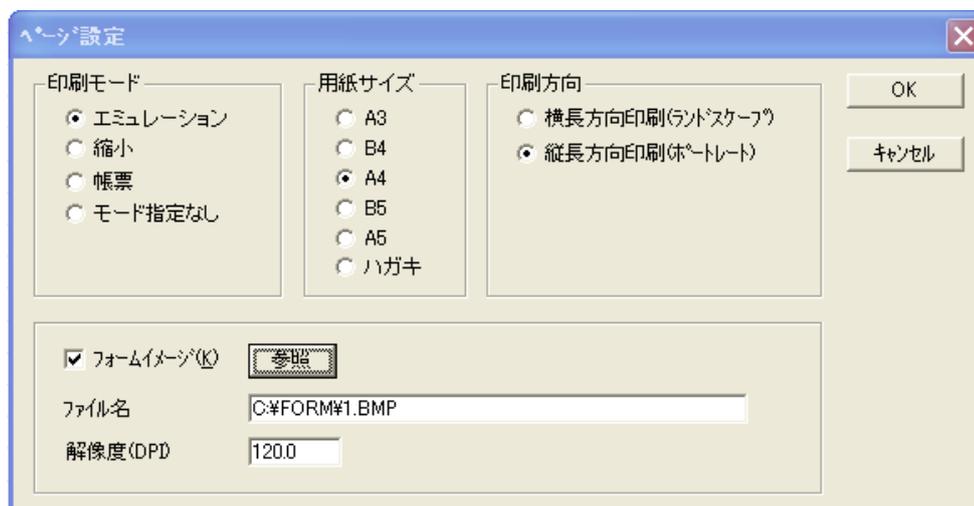
[フォームイメージの指定]

印刷済みの帳票をフォーム・オーバーレイ印刷に移行する場合や、印刷プログラムがあり、その印刷結果に重ねるフォームを作成する場合で、イメージ・スキャナが利用できる場合には、帳票や印刷結果のイメージを画面に表示させ、その上にフォームを作成することができます。物差しにより採寸し、配置するのに比べて、フォームの登録時間を大幅に短縮することができます。

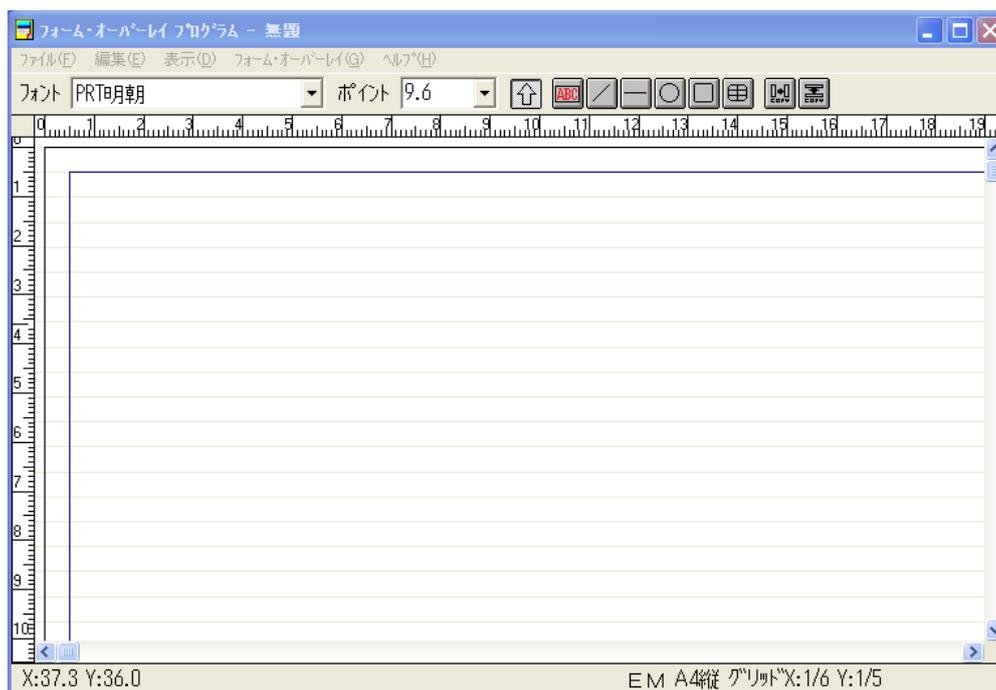
フォームの作成を始める前に、帳票や印刷結果のイメージをスキャナで読み取り、ビットマップファイル (*.BMP) を作成します。フォームイメージチェックボックスをオンにし、〈参照〉ボタンをクリックすると、イメージファイルダイアログボックスが表示されます。



表示するビットマップファイルを選択し、イメージ・スキャナで帳票や印刷結果を読み取った時の解像度を入力します。



ページ設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。フォームの作成状態になります。



<注意>

画面に表示される青線（マージン 5 mm）の外側や線上に、固定文字、図形、ビットマップ、表を作成しないでください。

3.2 オブジェクト

フォーム上に作成される固定文字、図形、ビットマップ、表などを“オブジェクト”と呼びます。オブジェクトを選択することにより、オブジェクトに対してさまざまな指定を行うことができます。オブジェクトには次のものがあります。

■ 固定文字オブジェクト

フォーム上に配置される文字を固定文字オブジェクトとよびます。

■ 図形オブジェクト

フォーム上に描画された直線を直線オブジェクト、四角形を四角形オブジェクト、円を円オブジェクトと呼びます。また、これらをまとめて図形オブジェクトと呼びます。

■ ビットマップオブジェクト

フォーム上に貼り付けられたビットマップをビットマップオブジェクトと呼びます。

■ 表オブジェクト

フォーム上に作成された表を表オブジェクトと呼びます。

3.3 オブジェクトの作成

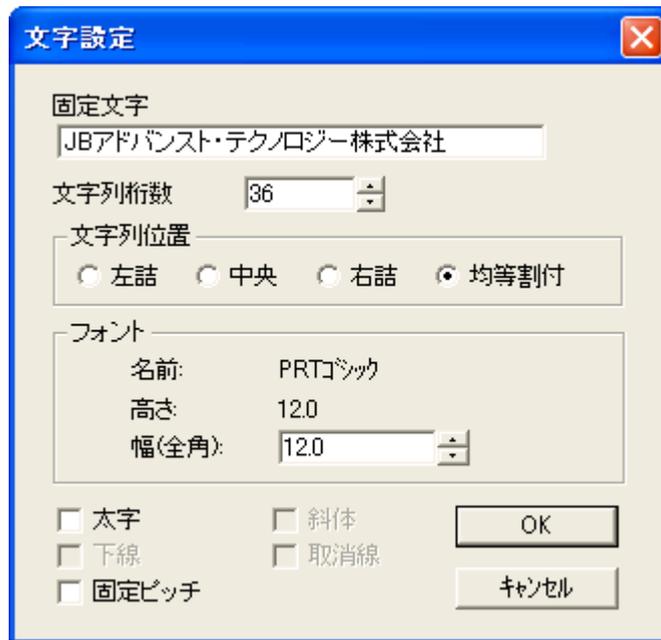
3.3.1 固定文字オブジェクト



ツールバーの固定文字作成アイコンをクリックします。次に、固定文字を配置したい場所でクリックすると、フォーム上に「テキスト」を表示する固定文字オブジェクトが作成されます。



固定文字オブジェクトをダブルクリックすると、固定文字の属性指定ウィンドウが開きます。

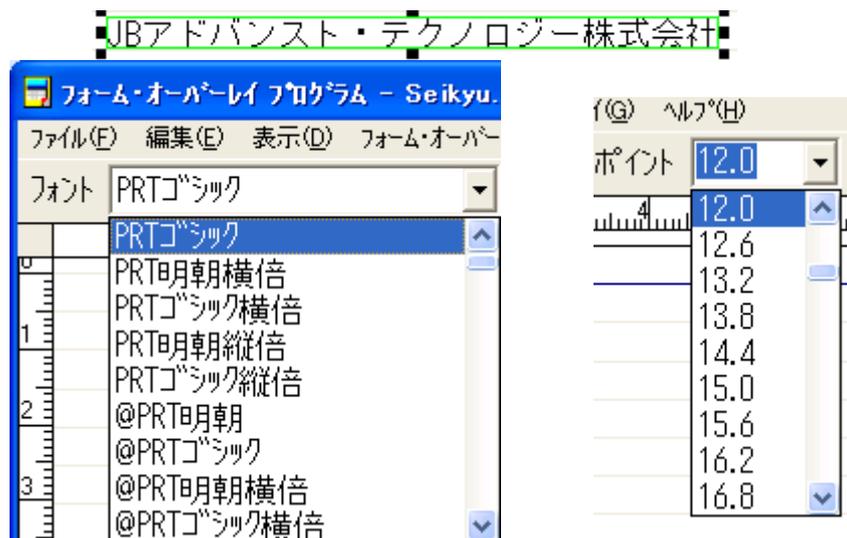


固定文字に入力されている [テキスト] を削除して、印刷したい文字列を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、入力された文字列が表示されます。

固定文字オブジェクトでは255文字までの印刷ができます。

文字種類、サイズを変更する。

文字の種類、サイズを変更する場合、まず、変更する固定文字ボックスをクリックし、選択状態にします。選択状態になるとボックスの回りに、サイズ変更マークが表示されます。



この状態で、ツールバーにある [フォント]コンボボックスから、フォントを選択します。また [ポイント]コンボボックスから、サイズを選択します。

<参考>

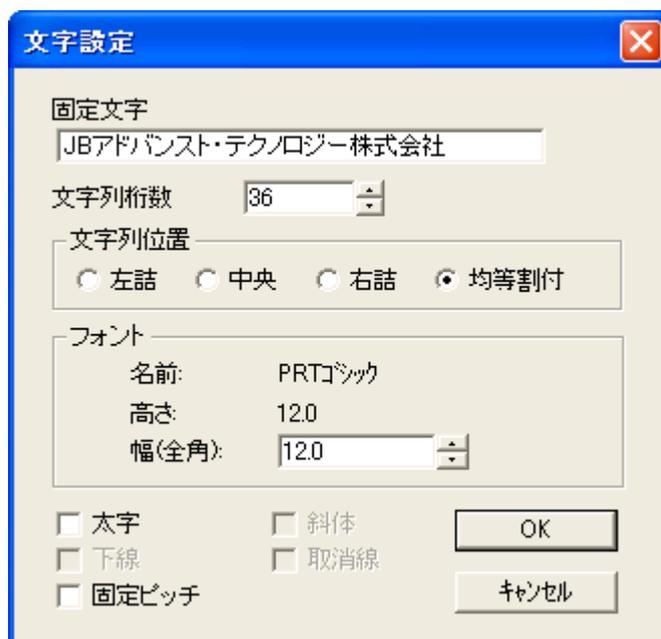
プリンター内蔵フォント（PRT明朝、PRTゴシック、PRT明朝横倍、PRTゴシック横倍、PRT明朝縦倍、PRTゴシック縦倍）は、文字コードでフォーム・オーバーレイ登録されます。プリンター内蔵以外のフォントは、イメージデータとしてフォーム・オーバーレイ登録されます。少ないメモリ量で登録できる、プリンター内蔵フォントを使用した方が、同一のメモリ量（プリンター内部メモリ、拡張ハードディスク）でより多くのフォームを登録することができます。また、印刷の時間も短くなります。

<注意>

文字フォントがプリンター内蔵フォントでない場合で、印刷文字がかかる場合には、固定文字ボックスの横幅を広げてください。

文字属性の変更

固定文字オブジェクトの配置、文字属性を変更します。変更したい固定文字オブジェクトをダブルクリックすると属性変更ダイアログボックスが表示されます。

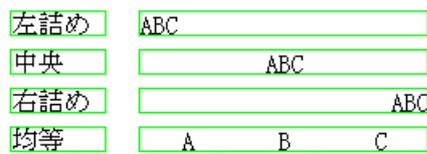


[文字桁数]

印刷するデータの桁数を指定します。

[文字列位置]

指定された固定文字オブジェクトの枠内に、どのように文字列を配置するかを指定します。



[太字],[斜体],[下線],[取消線]

文字の修飾を指定します。それぞれのチェックボックスをオンにすることにより指定を行います。

[固定ピッチ]

このチェックボックスをオンにすると、固定文字ボックスの幅を指定されている文字桁数で分割した位置に、文字列を1文字ずつ配置します。固定ピッチ指定は、文字列位置指定の均等オプションに似ていますが、均等オプションが受け取った文字列の文字数で枠の幅を分割するのに対して、固定ピッチ指定では、指定されている文字桁数で枠の幅を分割します。また、均等オプション指定よりも、固定ピッチ指定の方が優先されます。

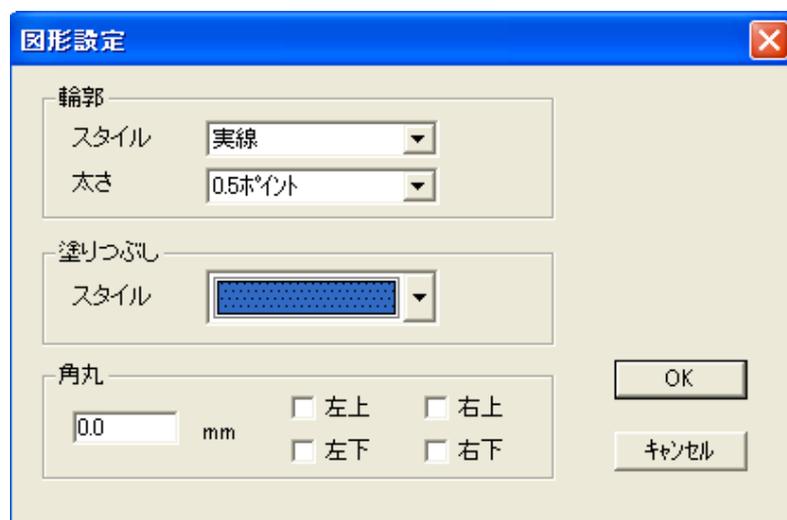
3.3.2 図形オブジェクト



ツールバーの図形作成アイコンをクリックします。図形を配置したい場所で左ボタンを押し、図形の大きさが目的の大きさになるまでドラッグしボタンを放します。フォーム上に図形オブジェクトが作成されます。

図形パターンの変更

図形オブジェクトの、線（輪郭線）の太さ、塗り潰しのパターンを指定します。変更したい図形オブジェクトをダブルクリックすると、パターン指定ダイアログボックスが表示されます。オブジェクトが直線の場合には塗り潰しの指定はありません。



[輪郭][スタイル]

線の種類、図形の輪郭線の種類を指定します。

[輪郭][太さ]

線の太さ、図形の輪郭線の太さを指定します。

[塗り潰し][スタイル]

四角形、円内部をどのようなパターンで塗り潰すかを指定します。

[角丸]

角丸の半径を入力し、角丸にする角のチェックボックス（左上、右上、左下、右下）をオンにします。（いずれかの角に角丸の指定があると、画面上は全ての角が角丸で表示されます。角丸の大きさは、四角形の幅または高さの半分に制限されます。）

3. 3. 3 ビットマップオブジェクト

ペイントブラシなどのビットマップを作成できるプログラムで、フォームに貼り付けを行うビットマップを、クリップボードに複製します。次に フォーム・オーバーレイプログラム の[編集]メニュー[貼り付け]コマンドを選択します。フォームの左上にビットマップオブジェクトが作成されます。ビットマップオブジェクトは、1つのフォームに最大30個まで作成できます。

3. 3. 4 表オブジェクト

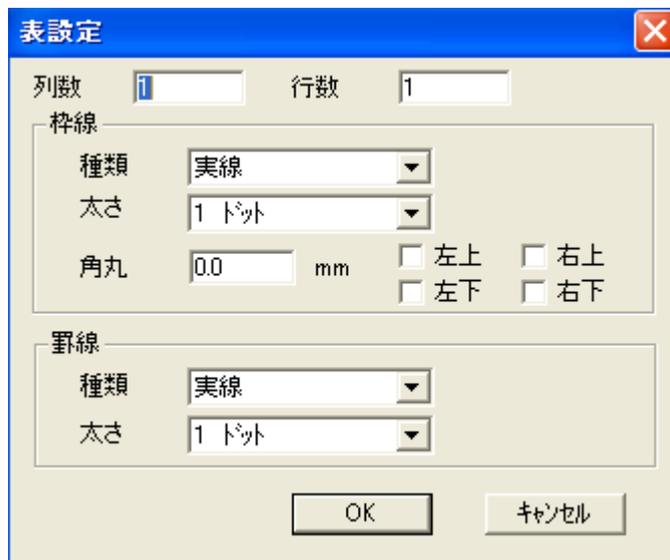


ツールバーの表作成アイコンをクリックします。次に、表を配置したい場所で左ボタンを押し、表の大きさが目的の大きさになるまでドラッグしボタンを放します。フォーム上に表オブジェクトが作成されます。表オブジェクトをダブルクリックすると、表指定ウィンドウが開きます。

表の列数、行数を入力して、[OK]ボタンをクリックすると、指定された列数、行数の表が表示されます。

■ 表設定の変更

表オブジェクトの、列数、行数、枠線の種類、太さ、罫線の種類、太さを指定します。変更したい表オブジェクトをダブルクリックすると、表設定ダイアログボックスが表示されます。



The image shows a dialog box titled "表設定" (Table Settings). It has a blue title bar with a close button (X) on the right. The dialog is divided into several sections:

- 列数** (Number of columns): A text input field containing the number "1".
- 行数** (Number of rows): A text input field containing the number "1".
- 枠線** (Border): A section containing:
 - 種類** (Type): A dropdown menu with "実線" (Solid line) selected.
 - 太さ** (Thickness): A dropdown menu with "1 ドット" (1 dot) selected.
 - 角丸** (Rounded corners): A text input field containing "0.0" followed by "mm". To its right are four checkboxes: "左上" (Top-left), "右上" (Top-right), "左下" (Bottom-left), and "右下" (Bottom-right), all of which are currently unchecked.
- 罫線** (Grid lines): A section containing:
 - 種類** (Type): A dropdown menu with "実線" (Solid line) selected.
 - 太さ** (Thickness): A dropdown menu with "1 ドット" (1 dot) selected.

At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

[列数]

表の列数を入力します。(1～100)

[行数]

表の行数を入力します。(1～100)

[枠線][種類]

表の外枠線の種類を指定します。

[枠線][太さ]

表の外枠線の太さを指定します。

[角丸]

角丸の半径を入力し、角丸にする角のチェックボックス(左上、右上、左下、右下)をオンにします。(いずれかの角に角丸の指定があると、画面上は全ての角が角丸で表示されます。角丸の大きさは、表の幅または高さの半分に制限されます。)

[罫線][種類]

表内の罫線の種類を指定します。

[罫線][太さ]

表内の罫線の太さを指定します。

3. 4 オブジェクトの選択

作成したオブジェクトの位置、サイズ、設定内容などを変更するには、まずそのオブジェクトを選択しなければいけません。オブジェクトが選択されるとオブジェクトの周りにサイズ変更マークが表示されます。



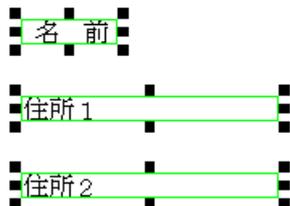
- 1つのオブジェクトを選択する。



ツールバーのオブジェクト選択アイコンをクリックし選択します。通常このアイコンは選択状態になっています。選択したいオブジェクトをクリックします。オブジェクトの周りに、サイズ変更マークが表示されます。

- 複数のオブジェクトを選択します。

文字の種類、文字サイズを一度に同じ設定にする場合、複数のオブジェクトの位置を揃える場合、複数のオブジェクトを一度に削除する場合に、複数のオブジェクトを選択します。ツールバーのオブジェクト選択アイコンをクリックし選択します。選択したい複数のオブジェクトを囲む範囲を作成します。（範囲の1つの隅でクリックし、ドラッグして選択したい複数のオブジェクトを囲む範囲を作成します。）選択されたオブジェクトの周りに、サイズ変更マークが表示されます。



3. 5 オブジェクトの移動、サイズ変更

選択されたオブジェクトの内側、あるいは線上をドラッグすることにより、オブジェクトを移動することができます。ドラッグしている間は点線が表示されて、移動した位置を示します。オブジェクトのサイズは、水平方向あるいは垂直方向だけに変更することや、両方向同時に変更することができます。選択されたオブジェクトのサイズ変更マークを、ドラッグすることによりサイズを変更できます。水平または垂直だけにサイズ変更する場合は、各辺の中心にある

サイズ変更マークをドラッグします。また両方向同時にサイズを変更する場合には、角のサイズ変更マークをドラッグします。

オブジェクトの移動は、グリッドに設定されている間隔で、移動します。

[表示(D)]メニュー[グリッドに位置合わせする(J)]コマンドが選択されている場合、オブジェクトの左上原点が、グリッドに一致します。グリッドの設定は、[表示(D)]メニュー[グリッド設定(s)]コマンドにより行います。

固定文字オブジェクトの高さは、常に文字高さとなり、変更することはできません。

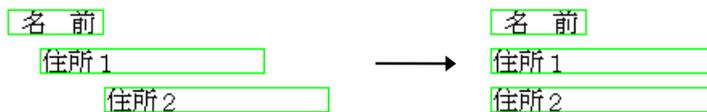
3.6 オブジェクトの位置を揃える

複数のオブジェクトの位置を水平方向または、垂直方向に整列させます。まず、整列させたい複数のオブジェクトを選択します。次に、[編集]メニュー[上端を揃える]コマンド、または、[左端を揃える]コマンドを選択します。

■ 上端を揃える

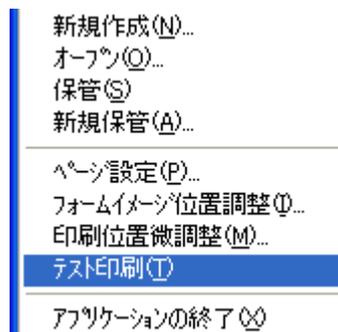


■ 左端を揃える



3.7 テスト印刷

現在作成／修正中のフォームを印刷します。[ファイル(F)]メニュー[テスト印刷(T)]コマンドをクリックすると、テスト印刷が開始されます。



4 フォーム・オーバーレイ印刷

プリンターに登録されているフォームに、印刷データを重ねてフォーム・オーバーレイ印刷を行います。

4.1 フォーム登録

[フォーム・オーバーレイ(G)]メニュー[フォームデータ登録(R)]コマンドにより、フォームをプリンターに登録します。また、HSTファイルをプリンターに印刷することにより、フォームの登録を行うことができます。(HSTファイルは、[フォーム・オーバーレイ(G)]メニュー[HSTファイル作成(H)]コマンドにより作成します。)

4.2 プリンタードライバーの指定

Windows環境でオーバーレイ印刷を行う場合、次のプリンタードライバーを使用して印刷を行ってください。

Windows Vista/7/8/10/Server2003/
Server2008/Server2016 PAGESBOXドライバー

IBMパーソナルコミュニケーションズ PDTは弊社HP(<http://www.jbat.co.jp>)よりダウンロードしてください

4.3 &% (//) コマンドの出力

PAGESBOXでは、「&% (//)」で始まる文字列を印刷データとしてプリンターに送ることにより、プリンター、およびオーバーレイ印刷の制御を行います。

&% (//) コマンドをプリンターに出力する場合、明朝 (または他のプリンター・フォント) をご使用ください。

4.4 プリンター制御コマンド

■ 使用トレイの設定

前面トレイ	&%MT1(//MT//1)
給紙カセット1	&%MT0(//MT//0)
給紙カセット2	&%MT2(//MT//2)
給紙カセット3	&%MT3(//MT//3)
給紙カセット4	&%MT4(//MT//4)

■ 前面トレイの用紙サイズ指定

&%MPA4(//MP//A4) A4の場合

※ プリンター制御コマンドの詳細については、別冊の「ラベルコマンド・リファレンス」を参照してください。

4.5 フォーム・オーバーレイ制御コマンド

■ オーバーレイ印刷の実行開始

&%10 n1 n1 = 内部メモリのフォーム番号
&%11 n1 n2 n1 n2 = 拡張ハードディスクのフォーム番号

指定したフォームの印刷モードに自動的に切り換わり、オーバーレイ印刷可能な状態になります。オーバーレイ印刷の開始命令に続く印刷データが印刷され、用紙を排出する前にフォームの印刷が行われます。

■ オーバーレイ印刷の終了

&%2

オーバーレイ印刷を終了します。

4.6 コマンド送出順序

■ オーバーレイ印刷

1) 用紙トレイの選択	(&%MPx x = 0,1,2,3,4)
2) 用紙サイズの指定 ※1	(&%MPxx xx = 用紙)
3) フォーム・オーバーレイ終了	(&%2)
4) フォーム・オーバーレイ開始指定	(&%xxx xxx = フォームNo.)
5) 印刷 ※2	
印刷終了	

※1 用紙トレイが、前面トレイの時に指定してください。

※2 フォームに重ねて印刷するデータを印刷します。印刷データの最後は必ず用紙排出命令にしてください。

■ オーバーレイ印刷の終了

1) フォーム・オーバーレイ終了	(&%2)
2) 印刷終了	

4.7 その他のフォーム・オーバーレイコマンド

■ フォームの削除

&%B0 n1 n1 = 内部メモリーのフォーム番号
&%B1 n1 n2 n1 n2 = 拡張ハードディスクのフォーム番号

■ 登録されているフォームのテスト印刷

&%C0 n1 n1 = 内部メモリーのフォーム番号
&%C1 n1 n2 n1 n2 = 拡張ハードディスクのフォーム番号

■ フォーム登録状況の印刷

&%D0 内部メモリーの登録状況印刷
&%D1 拡張ハードディスクの登録状況印刷

4.8 印刷位置の微調整

フォーム・オーバーレイ印刷を行った結果、フォームの印刷とデータの印刷にずれがある場合、印刷位置の微調整を行います。[ファイル(F)]メニュー[印刷位置微調整(M)]コマンドをクリックすると、印刷位置の微調整ダイアログボックスが表示されます。印刷位置微調整では、フォームの印刷位置を移動します。



横方向、縦方向の調整値を入力します。正の値は、印刷位置を右（横方向）または下（縦方向）へ移動します。負の値は、印刷位置を左（横方向）または上（縦方向）に移動します。

調整値を入力し、<OK>ボタンをクリックします。フォームをプリンターに登録し、再度フォーム・オーバーレイ印刷を行い、印刷位置の確認を行います。

第3章 リファレンス

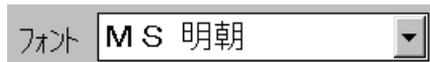
1	フォーム・オーバーレイの操作	3-1
1.1	ツールバー	3-1
1.2	コマンドの機能	3-3
	ファイルメニュー	3-3
	編集メニュー	3-8
	表示メニュー	3-8
	フォーム・オーバーレイメニュー	3-10
	バージョンメニュー	3-16

1 フォーム・オーバーレイの操作

1.1 ツールバー

フォーム・オーバーレイで良く使う機能がツールバーにまとめてあります。

■ フォント指定



文字オブジェクトの使用フォントを指定します。文字オブジェクトを選択状態にします。文字オブジェクトが選択状態になるとボックスの回りに、サイズ変更マークが次のように表示されます。



コンボボックスからフォントを選択すると、使用フォントが変更されます。

■ フォントサイズ指定



文字オブジェクトの使用フォントサイズを指定します。文字オブジェクトを選択状態にします。コンボボックスからフォントサイズ（ポイント）を選択すると、使用フォントのサイズが変更されます。

■ オブジェクト選択



このツールをクリックして選択してから、作成されたオブジェクトをクリックすると、オブジェクトが選択状態になります。選択されたオブジェクトは、フォントの変更、フォントサイズの変更、属性変更、パターンの変更、移動、サイズ変更、削除を行うことができます。また、複数のオブジェクトをドラッグして囲むことにより、複数のオブジェクトを同時に選択し、フォント指定、フォントサイズ指定、移動、位置揃え、削除を行うことができます。

■ 固定文字列作成ツール



フォーム上に固定文字列を作成します。

■ 直線作成ツール

フォーム上に直線を作成します。

■ 水平、垂直線作成ツール

フォーム上に水平線又は垂直線を作成します。

■ 円作成ツール

フォーム上に真円を作成します。

■ 四角形作成ツール

フォーム上に四角形を作成します。

■ 表作成ツール

フォーム上に表（n行、m列）を作成します。

■ 横方向コピー

固定文字オブジェクト、図形オブジェクトを右方向に複写します。

■ 下方向コピー

固定文字オブジェクト、図形オブジェクトを下方向に複写します。

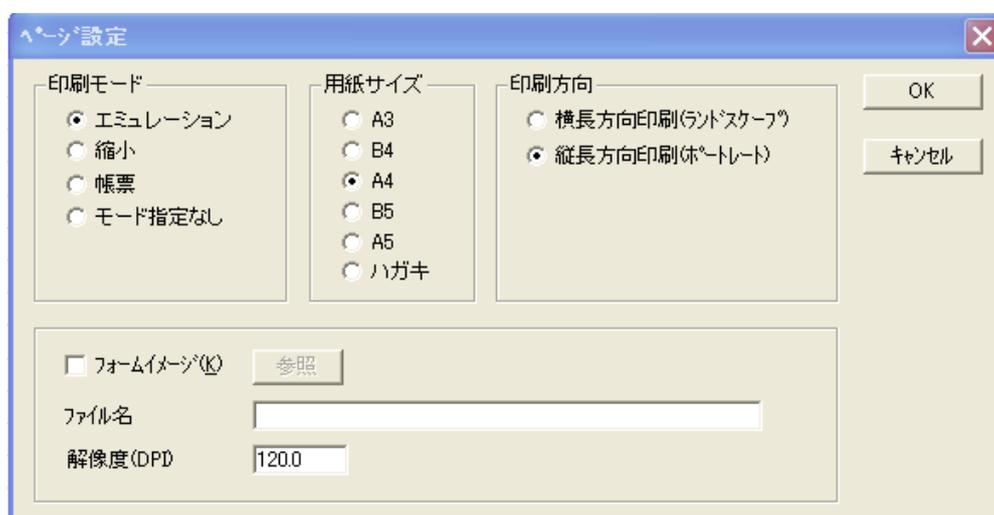
1.2 コマンドの機能

フォーム・オーバーレイには次に示すメニュー、コマンドがあります。

■ファイル(F)／新規作成(N)■

新しいフォームを作成します。

このコマンドを選択すると、ページ設定ダイアログボックスが表示されます。



[印刷モード]

印刷モードを指定します。

- ・エミュレーション 通常サイズで印刷
- ・縮小 75%に縮小して印刷
- ・帳票 136桁(10cpi)、66行(1pi)の印刷範囲を、プリンターで印刷する用紙に縮小して印刷
- ・モード指定なし プリンターに指定されている印刷倍率で印刷

[用紙サイズ]

フォームの用紙サイズを指定します。

[印刷方向]

用紙の向きを指定します。

[フォームイメージ(K)]

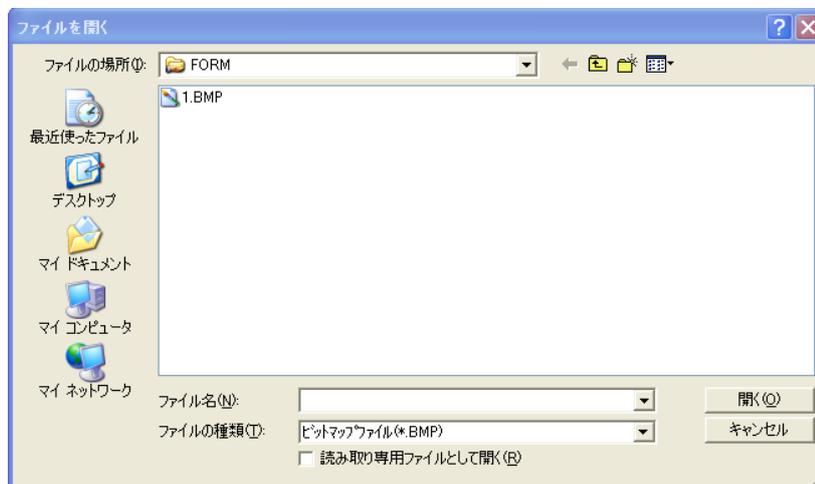
このチェックボックスをオンにすると、フォームの台紙として、ビットマップ・イメージを指定することができるようになります。フォームイメージの指定は、[参照] ボタンをクリックして行います。

[ファイル名]

フォームイメージのビットマップファイルを指定します。

<参照> ボタン

フォームイメージの指定を行います。このボタンをクリックすると、イメージファイル指定ダイアログボックスが表示されます。



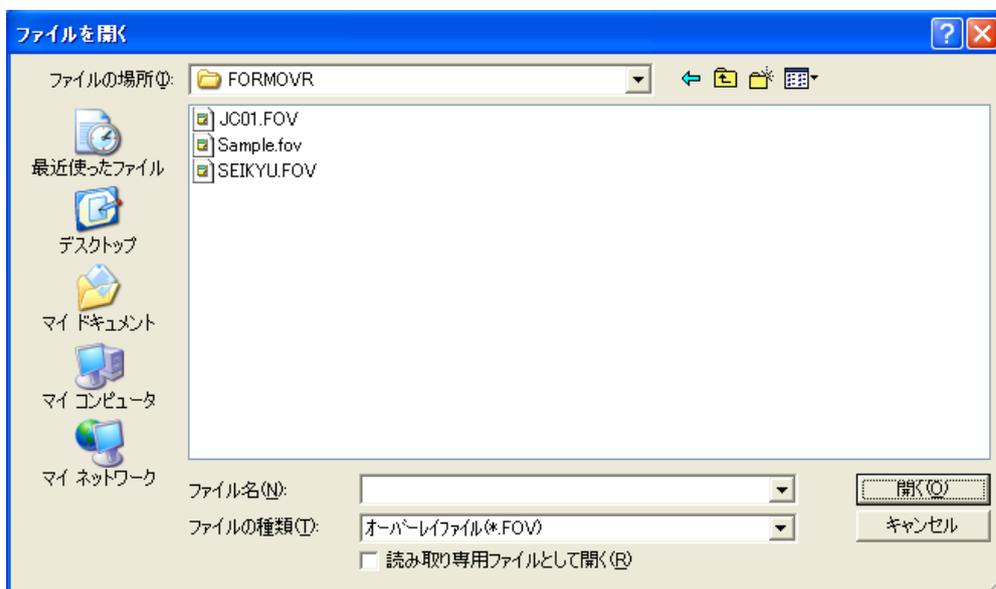
◆ ファイル一覧のリストボックスに表示されている、ビットマップファイルの一覧から、使用したいビットマップファイル名をクリックすることにより、ビットマップファイル名を入力することができます。

[解像度(DPI)]

ファイル名で指定したビットマップファイルの、スキャン時の解像度を入力します。スキャン時の解像度は、80DPI から 300DPIの範囲としてください。解像度が低いと、イメージが荒くなり、あまりきれいではありませんが、表示速度が速くなります。また、解像度が高いと、イメージはきれいですが、表示速度が遅くなります。位置決めの精度と表示速度から、120DPI または 240DPI を使用することを推奨します。

■ファイル(F)／オープン(O)■

既に作成されているフォームを読み込み、修正を行います。
このコマンドを選択すると、ファイルを開くダイアログボックスが表示されます。



[ファイル名]

現在選択されているファイル名を表示します。

[ディレクトリ]

現在のカレントディレクトリを表示します。

<OK> ボタン

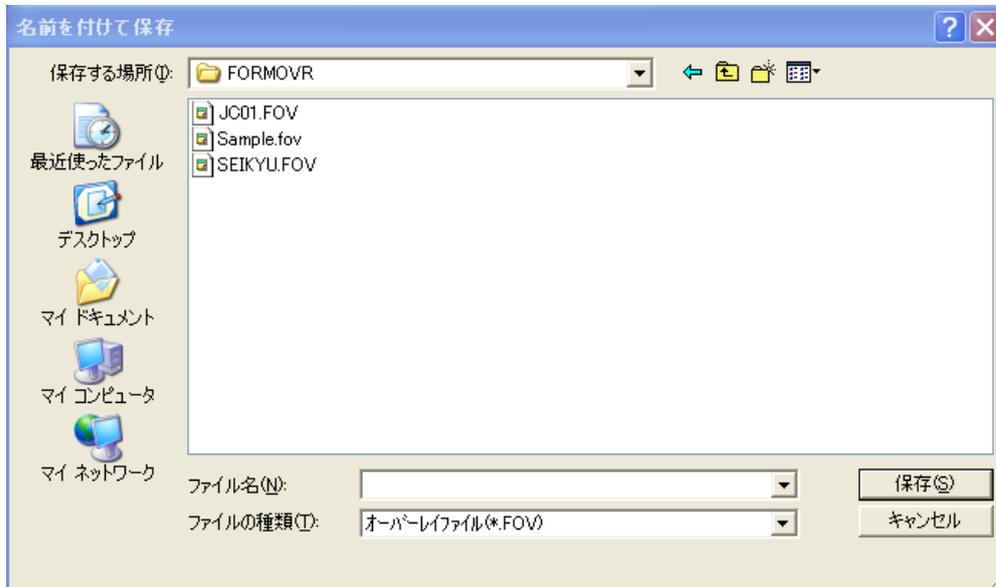
ファイル名で指定されたフォームを読み込み、フォームの修正状態にします。

■ファイル(F)／保管(S)■

現在作成／修正中のフォームをディスクに保存します。元のファイルは上書きされます。新規にフォームを作成している場合には、ファイル名を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。次の [ファイル(F)／新規保管(C)] を参照してください。

■ファイル(F)／新規保管(A)■

現在作成／修正中のフォームを、(別の)名前をつけてディスクに保存します。このコマンドを選択すると、ファイル名を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。

**[ファイル名]**

現在選択されているファイル名を表示します。

[ディレクトリ名]

現在のカレントディレクトリを表示します。

<OK> ボタン

ファイル名で指定されたファイルフォームを保管します。

■ファイル(F)／ページ設定(P)■

現在作成／修正中のフォームの、ページ設定を行います。このコマンドを選択すると、ページ設定ダイアログボックスが表示されます。ページ設定ダイアログボックスの使い方は、[ファイル(F)／新規作成(N)]コマンドを参照してください。

■ファイル(F)／フォームイメージ位置調整(M)■

フォームイメージ位置の微調整を行います。

このコマンドを選択すると、フォームイメージ位置調整ダイアログボックスが表示されます。



[微調・横方向(H)]、[微調・縦方向(V)]

横方向、縦方向の調整値を入力します。正の値は、フォームイメージ位置を右（横方向）または下（縦方向）へ移動します。負の値は、フォームイメージ位置を左（横方向）または上（縦方向）に移動します。

■ファイル(F)／印刷位置微調整(M)■

印刷位置の微調整を行います。

このコマンドを選択すると、印刷位置の微調整ダイアログボックスが表示されます。



[微調・横方向(H)]、[微調・縦方向(V)]

横方向、縦方向の調整値を入力します。正の値は、印刷位置を右（横方向）または下（縦方向）へ移動します。負の値は、印刷位置を左（横方向）または上（縦方向）に移動します。

<OK> ボタン

印刷位置の微調整を終了します。調整値は、フォームを保管する時に、一緒に保管されます。

〈キャンセル〉 ボタン

調整値を破棄して、印刷位置の微調整を終了します。

■ファイル(F)／終了(X)■

フォーム・オーバーレイプログラム を終了させます。

■編集(E)／複写(C)■

フォーム上のビットマップ、固定文字をクリップボードに複写します。

■編集(E)／貼り付け(P)■

クリップボードに複写されている、ビットマップ、固定文字をフォーム上に貼り付けます。

■編集(E)／削除(D)■

選択状態になっているオブジェクトを削除します。

■編集(E)／上端を揃える(T)■

選択状態になっている複数のオブジェクトの、上端位置を同じ高さに揃えます。

■編集(E)／左端を揃える(L)■

選択状態になっている複数のオブジェクトの、左端位置を同じに揃えます。

■表示(D)／全体(A)■

ウィンドウ内に、常にフォーム全体が表示されるように、フォームの表示サイズが調整されます。マウスの右ボタンをウィンドウ内でクリックすることにより、表示を [標準] に切り替えることができます。

メニューの [表示 (D) / 標準 (N)] または、[表示 (D) / 拡大 (W)] コマンドの前に、チェックのあるサイズに切り替わります。

■表示(D)／標準(N)■

ウィンドウ内に、用紙の一部を拡大して表示します。フォームの細部を確認することができます。マウスの右ボタンをウィンドウ内でクリックすることにより、表示を [拡大] に切り替えることができます。

■表示(D)／拡大(W)■

ウィンドウ内に、用紙の一部を拡大して表示します。フォームの細部を確認することができます。表示される大きさは、[標準]サイズの2～3倍となります。マウスの右ボタンをウィンドウ内でクリックすることにより、表示を [全体] に切り替えることができます。

■表示(D)／フォームイメージ(I)■

フォームの台紙として、ビットマップ・イメージを表示／非表示させます。ビットマップ・イメージを表示させるには、[ファイル(F)／ページ設定(P)] で、フォームイメージをオンにし、[参照]ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定しなければいけません。

■表示(D)／項目枠線(K)■

フォームに配置された、固定文字列の枠線を、表示／非表示にします。

■表示(D)／高速(H)■

フォームに配置された、イメージデータを表示／非表示にします。(枠線は表示されます。)

■表示(D)／水平グリッド表示(H)■

水平グリッド線を表示／非表示にします。

■表示(D)／垂直グリッド表示(V)■

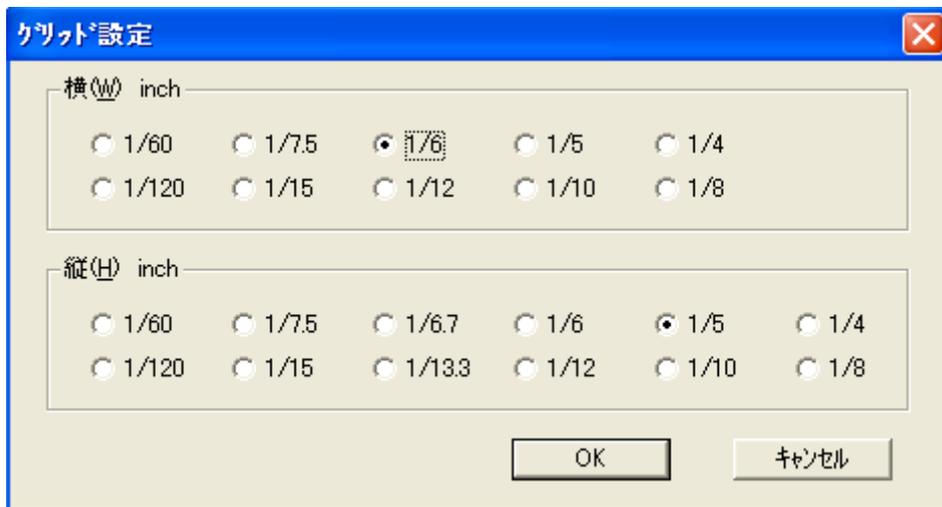
垂直グリッド線を表示／非表示にします。

■表示(D)／グリッドに位置合わせする(J)■

オブジェクトを移動する時に、グリッドに一致させるかどうかを指定します。

■表示(D)／グリッド設定(S)■

オブジェクトをフォームに配置する時の、最小単位を指定します。このコマンドを選択すると、グリッドダイアログボックスが表示されます。



[横(W)],[縦(H)]

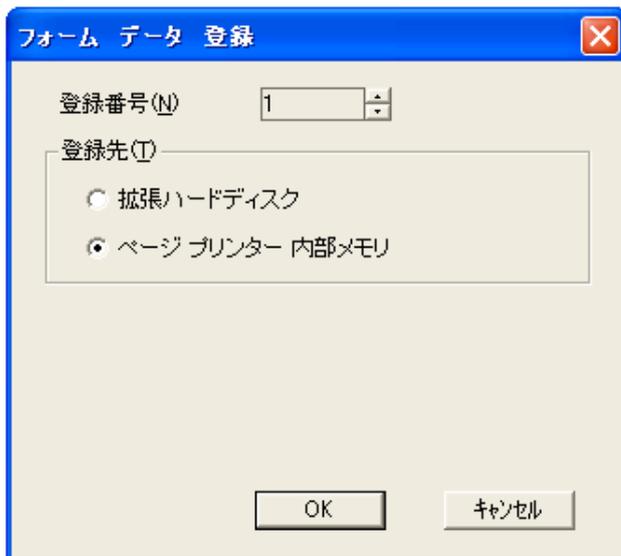
横方向、縦方向のグリッドの間隔を指定します。

<OK> ボタン

グリッドの設定を有効にします。

■フォーム・オーバーレイ(G)／フォーム・データ登録(R)■

現在作成／修正中のフォームを、プリンターに登録して、オーバーレイ印刷ができるようにします。このコマンドを選択すると<フォーム データ 登録> ダイアログボックスが表示されます。



[登録番号]

登録するフォームの番号（プリンター内部で管理）を指定します。

- ・拡張ハードディスクに登録する場合 1～32
- ・ページ・プリンター内部メモリに登録する場合 1～8

[登録先]

フォームの登録先を、拡張ハードディスクにするか、ページ・プリンター内部メモリにするか指定します。

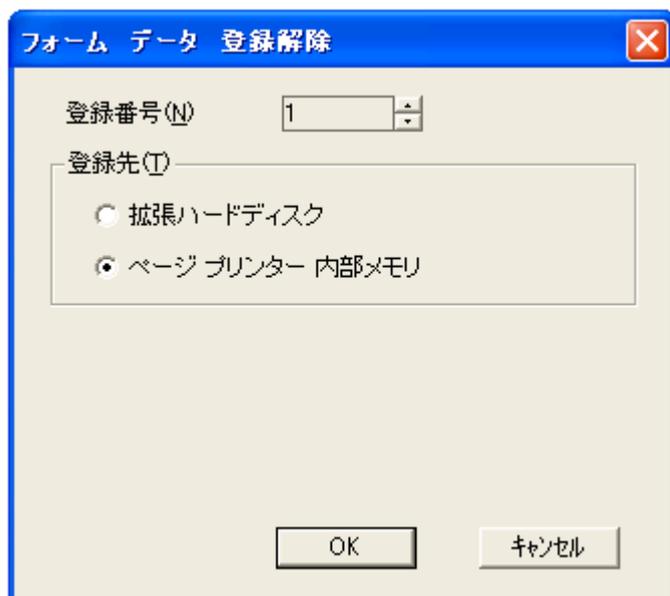
注) 拡張ハードディスクに登録されたフォームは、プリンターの電源をオフにしても登録内容は失われませんが、ページ・プリンター内部メモリに登録されたフォームは、プリンターの電源をオフにすると登録内容は失われます。

<OK> ボタン

フォームがプリンターに登録されます。

■フォーム・オーバーレイ(G)/フォーム・データ登録解除(D)■

プリンターに登録されているフォームを削除します。このコマンドを選択すると<登録解除>ダイアログボックスが表示されます。



[登録番号]

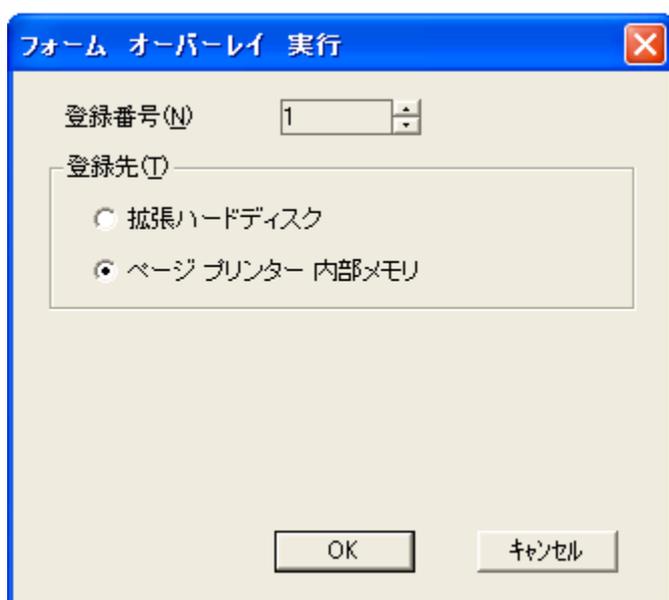
削除するフォームの番号（プリンター内部で管理）を指定します。

[登録先]

削除するフォームの登録先が、拡張ハードディスクか、ページ・プリンター内部メモリか指定します。

■フォーム・オーバーレイ(G)／フォーム・オーバーレイ実行(S)■

プリンターに登録されているフォームをオーバーレイ印刷可能な状態にします。このコマンドを選択すると<フォーム オーバーレイ 実行> ダイアログボックスが表示されます。

**[登録番号]**

実行するフォームの番号（プリンター内部で管理）を指定します。

[登録先]

実行するフォームの登録先が、拡張ハードディスクか、ページ・プリンター内部メモリか指定します。

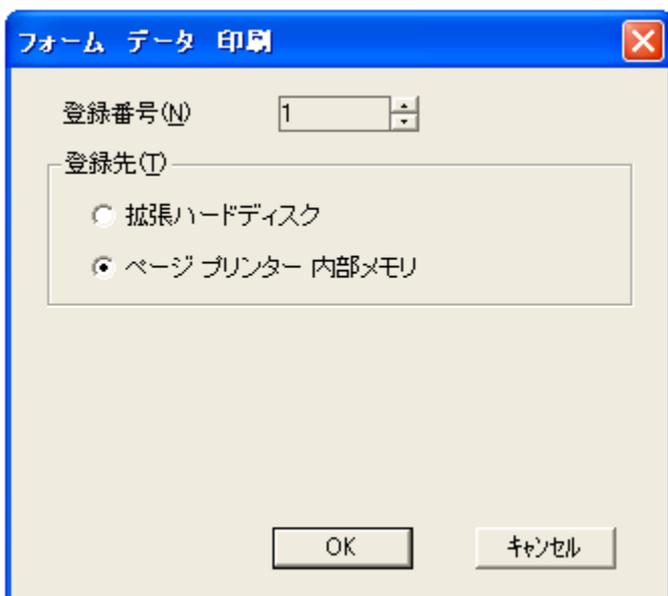
※ 指定されたフォームがオーバーレイ印刷可能な状態になります。通常の印刷が実行されると、指定フォームが重ねて印刷されます。

■フォーム・オーバーレイ(G)／フォーム・オーバーレイ終了(E)■

オーバーレイ可能な状態を解除します。

■フォーム・オーバーレイ(G)／フォーム・データ印刷(P)■

プリンターに登録されているフォームを印刷します。このコマンドを選択すると<フォームオーバーレイ印刷>ダイアログボックスが表示されます。

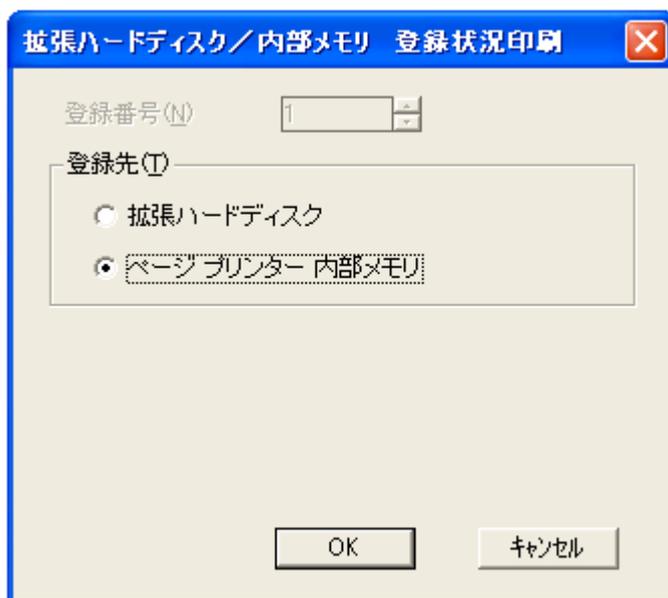


[登録番号]

印刷するフォームの番号（プリンター内部で管理）を指定します。

[登録先]

印刷するフォームの登録先が、拡張ハードディスクか、ページ・プリンター内部メモリか指定します。



■フォーム・オーバーレイ(G)／登録状況印刷(L)■

プリンターに登録されているフォームの登録状況を印刷します。このコマンドを選択すると<拡張ハードディスク／内部メモリ 登録状況印刷> ダイアログボックスが表示されます。

[登録先]

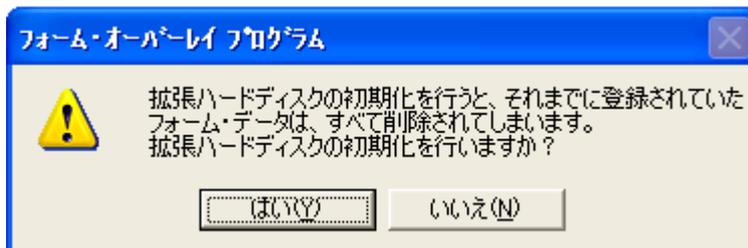
印刷する登録状況が、拡張ハードディスクか、ページ・プリンター内部メモリか指定します。

■フォーム・オーバーレイ(G)／拡張ハードディスク初期化(I)■

拡張ハードディスクの初期化を行ないます。拡張ハードディスクの初期化を行うと、それまでに登録されていたフォームは、すべて削除されます。このコマンドを選択すると<拡張ハードディスク 初期化> ダイアログボックスが表示されます。



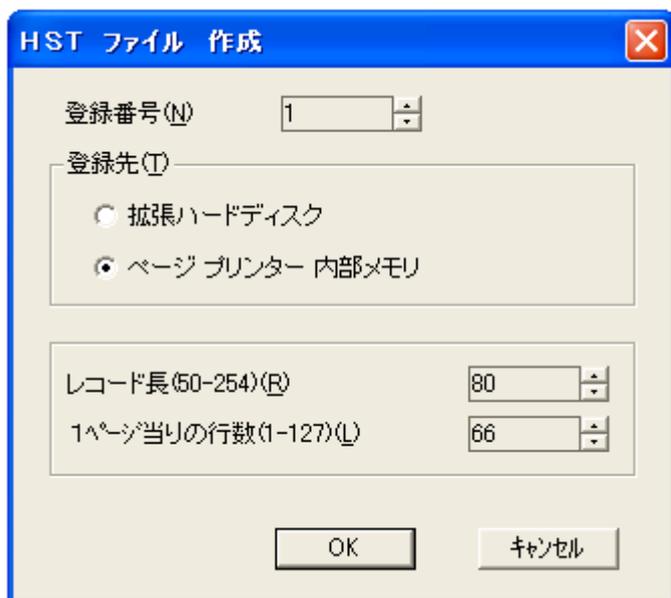
拡張ハードディスクに付けるコメントを入力します。コメントは半角文字16桁以内で入力してください。<OK> ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。



初期化を行なう場合には<はい(Y)>ボタン、初期化をやめる場合には<いいえ(N)> ボタンをクリックします。

■フォーム・オーバーレイ(G)／HSTファイル作成(H)■

現在作成／修正中のフォームから、HSTファイル（プリンターに直接フォーム登録を行うためのテキスト形式のファイル HSTファイルについては、本章 2. HSTファイルの構造を参照してください。）を作成します。このコマンドを選択すると<HST ファイル 作成> ダイアログボックスが表示されます。



[登録番号]

登録するフォームの番号（プリンター内部で管理）を指定します。

- ・拡張ハードディスクに登録する場合 1～32
- ・ページ・プリンター内部メモリに登録する場合 1～8

[登録先]

フォームの登録先を、拡張ハードディスクにするか、ページ・プリンター内部メモリにするか指定します。

[レコード長]

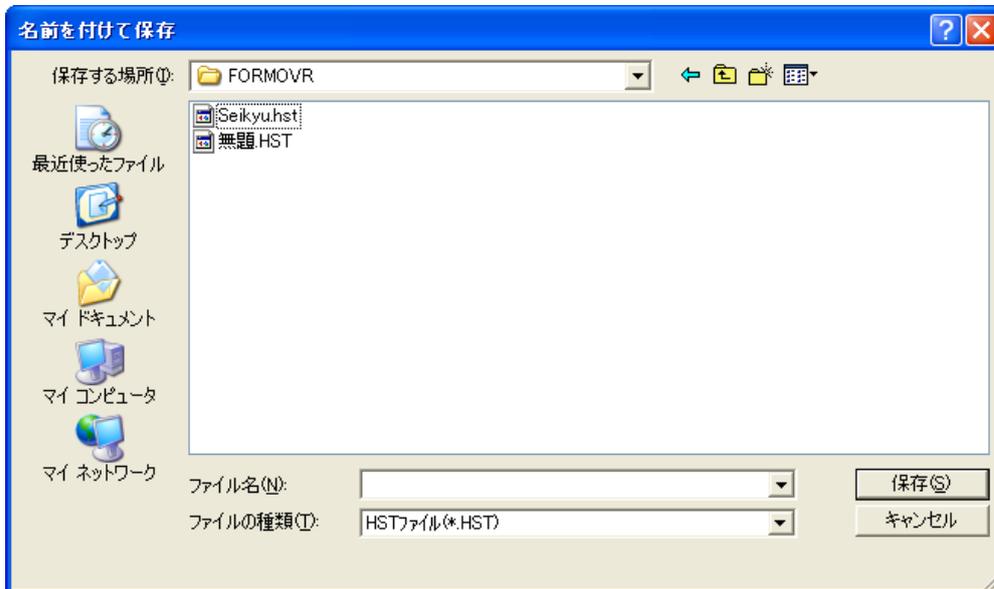
HSTファイルのレコード長を指定します。

[1ページ当たりの行数]

HSTファイルの1ページ当たりの行数を指定します。

<OK> ボタン

このコマンドを選択すると、ファイル名を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。



[ファイル名]

現在選択されているファイル名を表示します。

注) H S Tファイルのファイル名には漢字を使用することはできません。

[ディレクトリ名]

現在のカレントディレクトリを表示します。

<OK> ボタン

現在作成、修正中のフォームから、H S Tファイルを作成します。

■バージョン(H)／フォーム・オーバーレイプログラムについて(A)■

フォーム・オーバーレイプログラムのプロフィールを表示します。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社